



## 小島友実の あの馬の STORY



### プランタンヴェール

7月14日・福島競馬場 デビュー戦パドック 林調教師と

「この馬を初めて見たのは一歳の夏頃です。当時既に雄大な馬体で骨格もしっかりしておらず、とにかく良い馬を頼りたいで、調教師はい話をします。

「この馬を初めて見たのは一歳の夏頃です。当時既に雄大な馬体で骨格もしっかりしておらず、とにかく良い馬を頼りたいで、調教師はい話をします。

「馬房では手がかかるな、騎乗者が乗つても前向きに一生懸命走る」など、いたので、早期トレーニングができるのかな感じしていました」

「この言葉通り育成は順調に進み、4月20日に美浦トレセンへ入厩。5月初旬にはゲート試験に受かりますが、ゲート練習を行った疲れもあり、放牧へ出ました。そしてその後、6月中旬に帰厩。福島の芝1000メートルでのデビューを目標に調整が始まりました。

「珍じタード、ひかるが合いつか。適性を探つて、この段階でござる」という時期の福島の芝は梅雨明け前後で雨が降れば時計がかかるので、芝が良いかなと。また、芝の短距離で活躍したカレンチャンの姉である血統で、馬体や走りは父の「クフォースより母系の特色の方が出ていて印象でした。それからまだ脚元が固まっているので、坂路がない函館では調整が難しかった」と、馬体や走りは父の「クフォ

ースより母系の特色の方が出ていて印象でした。それからまだ脚元が固まっているので、坂路がない函館では調整が難しかった」と、馬体や走りは父の「ク

スより母系の特色の方が出ていて印象でした。今年7月14日の福島芝1200メートルでトライアルで走りました。2戦目の9月29日の中山芝1200メートルで着して善戦してござる馬。牝馬で馬体重が500キロを超えており、パンツで悠々と歩く姿が印象的ですが、1歳の頃から馬格が目立つてござります。林調教師はい話をします。

「この馬を初めて見たのは一歳の夏頃です。当時既に雄大な馬体で骨格もしっかりしておらず、とにかく良い馬を頼りたいで、調教師はい話をします。

「珍じタード、ひかるが合いつか。適性を探つて、この段階でござる」という時期の福島の芝は梅雨明け前後で雨が降れば時計がかかるので、芝が良いかなと。また、芝の短距離で活躍したカレンチャンの姉があ

る馬で、馬体や走りは父の「クフォースより母系の特色の方が出ていて印象でした。それからまだ脚元が固まっているので、坂路がない函館では調整が難しかった」と、馬体や走りは父の「ク

スより母系の特色の方が出ていて印象でした。今年7月14日の福島芝1200メートルでトライアルで走りました。2戦目の9月29日の中山芝1200メートルで着して善戦してござる馬。牝馬で馬体重が500キロを超えており、パンツで悠々と歩く姿が印象的ですが、1歳の頃から馬格が目立つてござります。林調教師はい話をします。

「珍じタード、ひかるが合いつか。適性を探つて、この段階でござる」という時期の福島の芝は梅雨明け前後で雨が降れば時計がかかるので、芝が良いかなと。また、芝の短距離で活躍したカレンチャンの姉があ

る馬で、馬体や走りは父の「クフォースより母系の特色の方が出ていて印象でした。それからまだ脚元が固まっているので、坂路がない函館では調整が難しかった」と、馬体や走りは父の「ク

スより母系の特色の方が出ていて印象でした。今年7月14日の福島芝1200メートルでトライアルで走りました。2戦目の9月29日の中山芝1200メートルで着して善戦してござる馬。牝馬で馬体重が500キロを超えており、パンツで悠々と歩く姿が印象的ですが、1歳の頃から馬格が目立つてござります。林調教師はい話をします。

「珍じタード、ひかるが合いつか。適性を探つて、この段階でござる」という時期の福島の芝は梅雨明け前後で雨が降れば時計がかかるので、芝が良いかなと。また、芝の短距離で活躍したカレンチャンの姉があ

る馬で、馬体や走りは父の「クフォースより母系の特色の方が出ていて印象でした。今年7月14日の福島芝1200メートルでトライアルで走りました。2戦目の9月29日の中山芝1200メートルで着して善戦してござる馬。牝馬で馬体重が500キロを超えており、パンツで悠々と歩く姿が印象的ですが、1歳の頃から馬格が目立つてござります。林調教師はい話をします。

「珍じタード、ひかるが合いつか。適性を探つて、この段階でござる」という時期の福島の芝は梅雨明け前後で雨が降れば時計がかかるので、芝が良いかなと。また、芝の短距離で活躍したカレンチャンの姉があ

る馬で、馬体や走りは父の「ク

(取材・11月7日)

profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜19:00~20:30)、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。